

開講科目名 / Course	特別支援教育論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	古賀 精治	
担当教員名 / Instructor	古賀 精治	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室だけでなく、通常の学級にも在籍する様々な障害（発達障害や軽度知的障害など）のある幼児、児童及び生徒に関し、学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対応するために必要な知識や支援方法について学ぶ。	
到達目標	1. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を説明できる。 2. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する特別の教育課程や支援の方法を説明できる。 3. 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援について説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、6.探究心と創造力	
授業計画	01. 特別支援教育に関する制度 02. 発達障害等のある幼児児童生徒の理解 03. 発達障害等のある幼児児童生徒に対する支援方法 04. 病弱等を含む様々な障害のある幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難の理解と支援 05. 通級による指導と自立活動 06. 個別の指導計画と個別の教育支援計画 07. 個別の指導計画と個別の教育支援計画 08. 貧困等の問題により特別の教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解と対応	
その他の授業の工夫	・ハンドアウトを配布し、最新の教育事情に関する話題提供を行う。 ・受講生が話し合う機会を提供する。	
時間外学修	・授業計画に基づき、授業開始前に資料などに目を通すこと（8h）。 ・授業終了後、講義中に提示された資料を整理し、復習をおこない、生徒指導における基本的な概念について自分なりの理解を構築する（14h）。	
評価方法と評価割合	試験（各授業における小レポートまたは小テストを含む）70% 平常点（発言内容等）30%	
テキスト	必要に応じてハンドアウトを配布する。	
参考書	「新訂 障害児・障害者心理学特論」（田中新正・古賀精治著、放送大学教育振興会） 「小学校学習指導要領（平成29年告示）」文部科学省 「中学校学習指導要領（平成29年告示）」文部科学省	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		